研究員の眼

ハロウィンジャンボの楽しみ 2023

一攫千金のドキドキ感か、100 万円以上当せんのワクワク感か

保険研究部 主席研究員　篠原　拓也
(03)3512-1823　tshino@nli-research.co.jp

猛暑・酷暑が続いた夏がようやく過ぎ去り、少しずつ過ごしやすい秋の季節が訪れている。味覚の秋、食欲の秋で、ついつい食べ過ぎてしまい、肥満がちになってしまう人もいるかもしれない。一方、芸術の秋、スポーツの秋として、さまざまな充実した活動を進めている人も多いはずだ。

今年 5 月には 5 類感染症移行後にコロナ禍の規制も解け、人々の外出や旅行が戻りつつある。10 月下旬には、恒例の「ハロウィン」の時期がやってくる。

今年は各地でハロウィンイベントが開催される予定で、大変な盛り上がりが期待される。ただ、渋谷区では、「ハロウィン期間中にハロウィン目的で渋谷駅周辺に来ないでほしい」と区長が呼びかけている。路上飲酒などのモラルの低下を避けることや、多数の来街者による雑踏事故を防ぐことが目的だという。マナーや安全の面を考えると、ハロウィンを楽しむのもほどほどに、というところだろう。

そんななか、今年も 9 月 20 日(水)からハロウィンジャンボ宝くじが発売される。ハロウィンを楽しむには、うってつけのイベントといえる。最高当せん金は 1 等前後賞合わせて 5 億円と高額だ。当せん金や当せん本数などのなかには、昨年から変更されている部分もある。その変更点をみながら、今年はどんなふうに狙うべきか、少し考えてみよう。

◇ 昨年のハロウィンジャンボと比べて何が変わったのか

ハロウィンジャンボ宝くじには、他のジャンボ宝くじと同様、「ジャンボ」と「ジャンボミニ」の 2 つがある。「1 等前後賞合わせて 5 億円」のうたい文句で販売されるのは、ハロウィンジャンボだ。ハロウィンジャンボミニの当せん金の最高額は、1 等前後賞合わせて 5000 万円となっている。

それでは、今年のハロウィンジャンボは、昨年と比べて何が変更となったのか、具体的にみていこう。主な変更点として、次の 5 つがあげられる。

 | Copyright ©2023 NLI Research Institute All rights reserved

（ハロウィンジャンボの主な変更点）

(1) 2 等（当せん金 1000 万円）の当せん本数が、1 ユニット(1000 万枚)あたり、2 本から 10 本に 5 倍増

(2) 3 等（当せん金 100 万円）の当せん本数が、1 ユニットあたり、100 本から 200 本に倍増

(3) 4 等（当せん金 1 万円・1 ユニットあたり当せん本数 2 万本）はなくなった

(4) これらの結果、1 ユニットあたりの当せん本数は 112 万 204 本から 110 万 312 本に減少

(5) 1 枚 300 円に対する当せん金の平均受取額は、142.99 円から 140.99 円へと 2 円減少

◇当せん金の平均受取額はくじの発売額の半分以下とすることが法律で定められている

このうち、まず（5）の当せん金の平均受取額について少し確認しておこう。

宝くじは 1 枚 300 円だが、当せんすれば、それ以上の金額を受け取ることができる。当せんしなければ、もちろん当せん金は受け取れない。それでは、当せんする場合としない場合をすべて考えたときに、当せん金はどれぐらい受け取れるか —— それが、当せん金の平均受取額だ。

ある等の当せん金と当せん確率を掛け算すると、その等の当せん金の平均受取額となる。例えば、1 等の場合、当せん金 3 億円と当せん確率 0.00001%を掛け算して、1 等の当せん金の平均受取額は 30 円といった具合いだ。これをすべての等で合計すると、くじ全体の当せん金の平均受取額が計算できる。

今回のハロウィンジャンボの場合、くじ全体の当せん金の平均受取額を計算してみると 140.99 円となった。これは、1 枚 300 円のくじの半分以下だ。実は、宝くじでは、この当せん金の金額は発売額の半分以下とすることが、当せん金付証票法という法律で定められている。

当せん金付証票法（昭和二十三年法律第百四十四号）

第五条（当せん金付証票の当せん金品の限度）第一項

当せん金付証票の当せん金品の金額又は価格の総額は、その発売総額の五割に相当する額（加算型当せん金付証票にあつては、その額に加算金（第二条第二項の加算金をいう。以下同じ。）の額を加えた額）をこえてはならない。

つまり、今回のハロウィンジャンボ宝くじでいえば、平均受取額はくじの発売額（300 円）の半分以下ということになる。宝くじで当せんして儲けようとしても、そう簡単にはできないわけだ。

Copyright ©2023 NLI Research Institute All rights reserved

◇ ジャンボは 100 万円以上の当せん本数が 2 倍に増加

続いて、ハロウィンジャンボの変更内容を詳しく見てみよう。(1)の 2 等の当せん本数 5 倍増と、(2)の 3 等の当せん本数倍増を、(3)の 4 等 1.8 万本なくすことの間で振り替え。(3)の 4 等の残り 0.2 万本をなくすことは平均受取額の 2 円減少につながっている。これにより、(4)の通り、1 ユニットあたりの当せん本数は減少となる。その代わり、100 万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1 ユニットあたり、昨年の 105 本から今年は 213 本へと 2 倍に増加する。

実は、100 万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、昨年、1.9 倍に増加していた。2 年連続で 2 倍前後の増加することになり、高額当せんに大きく比重を傾けたくじとなっている。

ハロウィンジャンボは、平均して、くじを 4 万 6949 枚買うと、当せん金 100 万円以上の当せんが 1 本出る形となっている。その際、これらのくじから平均的に、4 等が 469 本(当せん金 140 万 7000 円)、5 等が 4694 本(同 140 万 8200 円)当たるので、合わせると、当せん金の受け取りは、平均 381 万 5200 円に達する。ただし、そのためには、くじの購入代金として 1408 万 4700 円が必要となる。平均的には、1000 万円以上の持ち出しとなるので注意が必要だ。

ハロウィンジャンボは、本命の「1 等前後賞合わせて 5 億円」の超高額当せんとともに、2 等 1000 万円や、3 等 100 万円の当せんに照準を合わせた、高額当せん金狙いの宝くじと位置づけられそうだ。

ハロウィンジャンボ (円)

	当せん金	当せん確率	平均受取額
1等	300,000,000	0.00001%	30
1等の前後賞	100,000,000	0.00002%	20
1等の組違い賞	100,000	0.00099%	0.99
2等	10,000,000	0.0001%	10
3等	1,000,000	0.002%	20
4等	3,000	1%	30
5等	300	10%	30
合計			140.99

◇ ミニは 100 万円以上の当せん本数が 2.9 倍増加

一方、ハロウィンジャンボミニはどうか。ハロウィンジャンボと違って、当せん金の最高額は 1 等前後賞合わせて 5000 万円にとどまるが、その分、2 等以下の当せんの期待は大きい。

ハロウィンジャンボミニについては、昨年と比べた場合の主な変更点は 6 つにまとめられる。

Copyright ©2023 NLI Research Institute All rights reserved

（ハロウィンジャンボミニの主な変更点）

(1) 1 等（当せん金 3000 万円）の当せん本数が、1 ユニット(1000 万枚)あたり 4 本から 10 本に 2.5 倍増

(2) 併せて、1 等の前後賞（当せん金 1000 万円）の当せん本数も 8 本から 20 本に 2.5 倍増

(3) 2 等（当せん金 100 万円）の当せん本数が、1 ユニットあたり 100 本から 300 本に 3 倍増

(4) 3 等（当せん金 1 万円）の当せん本数が、1 ユニットあたり 5 万本から 1000 本に減少

(5) これらの結果、1 ユニットあたりの当せん本数は 115 万 112 本から 110 万 1330 本に減少

(6) 1 枚 300 円に対する当せん金の平均受取額は、140 円から 141 円へと 1 円増加

これは、(4)の 3 等の当せん本数の 4.9 万本減少を、(1)と(2)の「1 等前後賞合わせて 5000 万円」の本数 2.5 倍増と、(3)の 2 等の当せん本数の 3 倍増で振り替え。そして、振り替え分を上回る当せん金が、(6)の平均受取額 1 円増の形で、プラスオンされたものと見ることができる。これにより、(5)の通り、1 ユニットあたりの当せん本数は減少となる。その代わり、100 万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1 ユニットあたり、昨年の 112 本から今年は 330 本へと 2.9 倍に増加する。1 ユニットあたりの 100 万円以上の当せん金の当せん本数は、ハロウィンジャンボと比べて 1.5 倍以上、ということになる。

実は、ハロウィンジャンボミニでは、昨年、当せん金 100 万円の 2 等が新設された。100 万円という高額当せんを設けることで、宝くじの魅力を高めていた。今年は、その当せん本数が 1 ユニットあたり 3 倍増に拡大することとなったわけだ。

ハロウィンジャンボミニは、平均して、くじを 3 万 304 枚買うと、当せん金 100 万円以上の当せんが 1 本出る形となっている。その際、これらのくじから平均的に、3 等が 3 本(当せん金 3 万円)、4 等が 303 本(同 90 万 9000 円)、5 等が 3030 本(同 90 万 9000 円)当たるので、合わせると、当せん金の受け取りは、平均 284 万 8000 円に達する。ただし、そのためには、くじの購入代金として 909 万 1200 円が必要となる。平均的には、600 万円以上の持ち出しとなるので注意が必要だ。

ハロウィンジャンボミニは、1 等前後賞合わせて 5000 万円を狙いつつ、100 万円以上の当せんに軸足を置いた宝くじと言えるだろう。

Copyright ©2023 NLI Research Institute All rights reserved

ハロウィンジャンボミニ （円）

	当せん金	当せん確率	平均受取額
1等	30,000,000	0.0001%	30
1等の前後賞	10,000,000	0.0002%	20
2等	1,000,000	0.003%	30
3等	10,000	0.01%	1
4等	3,000	1%	30
5等	300	10%	30
合計			141

◇ ハロウィン気分を高める宝くじの買い方

まとめると、今回の宝くじは、「1 等前後賞合わせて 5 億円」の超高額当せんとともに、2 等 1000 万円や、3 等 100 万円の当せんに照準を合わせた、高額当せん金狙いのハロウィンジャンボ。1 等前後賞合わせて 5000 万円を狙いつつ、100 万円以上の当せんに軸足を置いたハロウィンジャンボミニ。この 2 つの宝くじが、選択肢として、与えられていることになる。

5 億円もの一攫千金のドキドキ感が味わえるハロウィンジャンボ。100 万円以上の当せんのワクワク感が楽しめるハロウィンジャンボミニ。この 2 つを満喫できるように、2 つの宝くじを買い揃える― それが、今回の買い方のコツといえるかもしれない。

今回の宝くじの発売期間は 10 月 20 日(金)までと、まだ時間はたっぷりある。抽せん日は 10 月 27 日(金)。当せん金の支払開始日は、ハロウィンの翌日、11 月 1 日(水)だ。ハロウィンジャンボ宝くじを買うことで、ハロウィン気分を高めてはいかがだろうか。

Copyright ©2023 NLI Research Institute All rights reserved